BungBungame

Photon 2

取扱説明書

V1.0.5

著作権について

本資料の内容は、製品スペック、OSバージョンアップなどの要因により予告なく変更することがあります。ご了承ください。本資料の著作権は当社に帰属します。著作権法の規定に基づき、権利者の同意なく内容の全てまたは一部を複製することは禁じられています。ただし、商用ではない個人的用途に使用する場合には、この限りではなく、副本1部の作成が可能です。本取扱説明書の変更の詳細な内容につきましては、www.www.bungbungame.comをご覧いただくか、当社に直接お問い合わせください。

製品免責事項

- 地震、雷、風災、水災及び当社に責任のない火災、または第三者による行為若しくは第三者が引き起こした事故、お客様の故意または過失による使用、異常状態での使用などにより製品が損壊した場合は、当社は責任を負いません。
- 本製品または製品が使用できないことにより記録内容に変化、消失が生じ、または商業上の利益の損失、業務中断などの付加損害が発生した場合は、当社は責任を負いません。
- 本説明書の説明内容に従わず製品が損壊した場合は、当社は責任を負いません。
- 本取扱説明書にて示された第三者の製品名またはコンテンツの全ての権及び知的財産権は個別の製品またはコンテンツの全ての者に帰属し、現行知的財産権関連法及び国際条約の保護を受けます。
- 次の状況が生じた場合は、本製品は当社の保証及びサービスの対象とはなりません。本製品が過去に当社がライセンスを行っていない業者による保守点検、仕様変更、部品交換その他当社のライセンスを受けていない行為がなされていたとき。

お問い合わせ

電話番号：0120-160-067
メールサポート：support_jp@bungbungame.com
受付時間：平日 AM11:00-PM06:00 (UTC + 09:00)
ホームページ：http://www.bungbungame.com/JP/

目次

2　著作権について
2　製品免責事項
2　お問い合わせ

4　第 1 章：Photon 2について
5　Photon 2について
6　タッチスクリーンパネルの機能介紹
9　Bluetoothキーボード付きレザーケースの機能介紹

11　第 2 章：Photon 2を使う
12　ご使用の前に
18　タブレットデバイスとタッチパネルの使い方
20　Bluetoothキーボードを使う
21　スタイラスペンを使う
22　タブレットデバイスを外す

23　第 3 章：Windows 8.1を使う
24　初めてスタート使用
24　Windows 8.1 ロック画面
25　Windows インタフェース
30　Windowsアプリで作業を行う
37　Wi-Fi 無線LAN
37　Bluetooth機器との接続
38　機内モード
39　デバイスの電源を切る

40　第 4 章：アプリについて
41　OneDrive
42　カメラ
43　アプリをインストールする
44　Eメール
45　People
46　Calendar

47　第 5 章：トラブルシューティング
48　トラブルシューティング

50　第 6 章：Q&A
51　ハードウェアQ&A
52　ソフトウェアQ&A
53　保証とアフターサービス

1

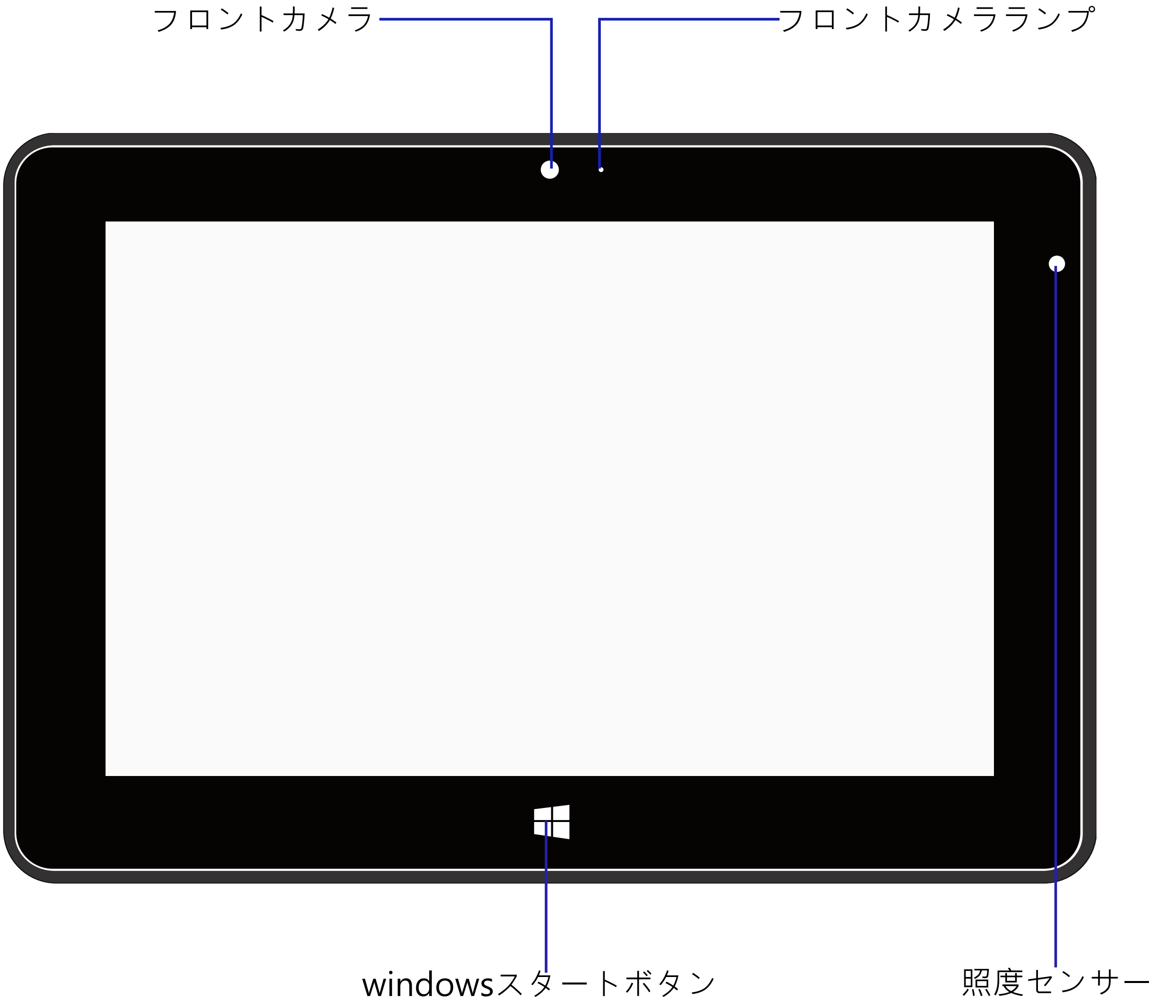
Photon 2を知る

Photon 2について

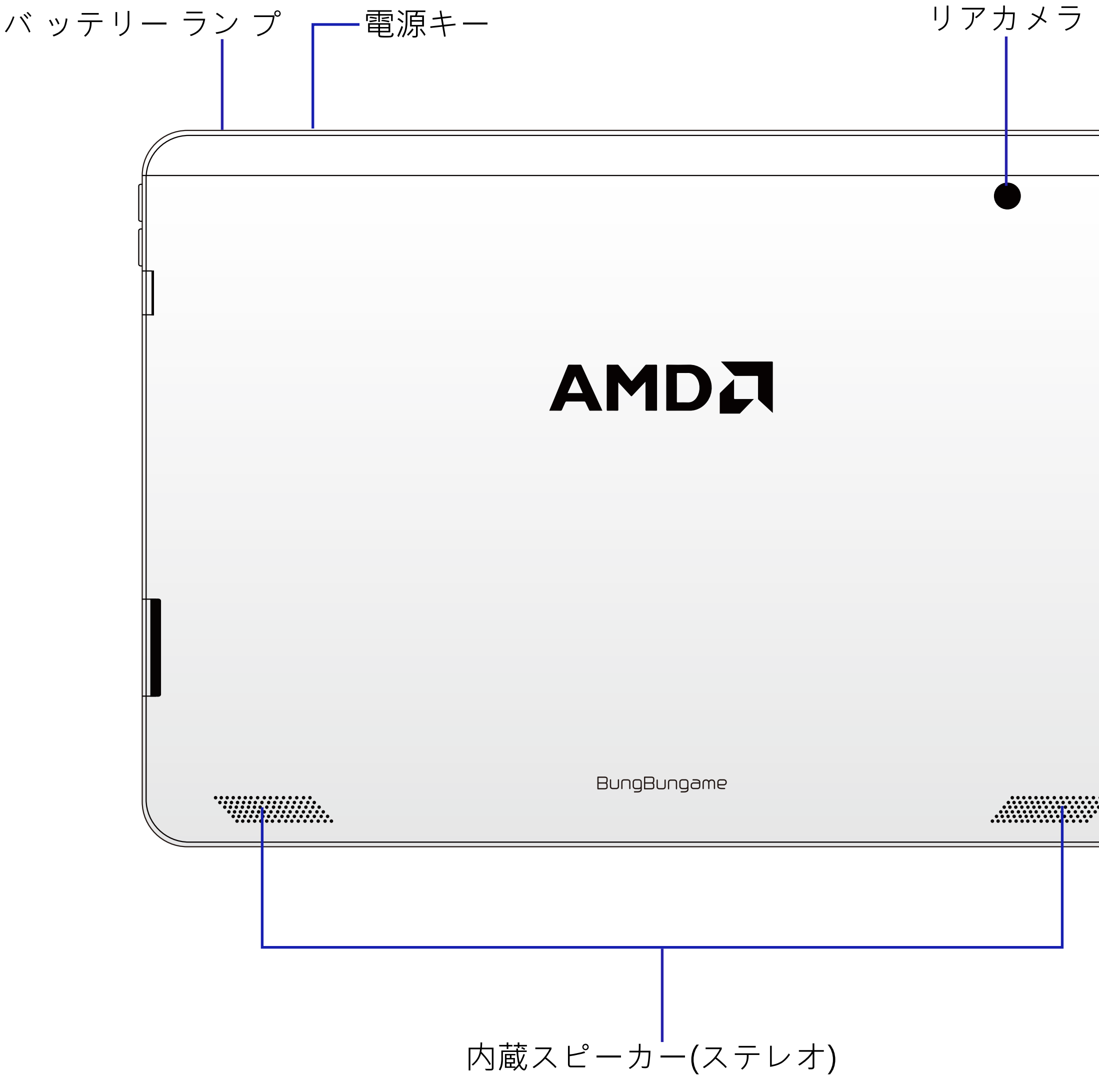
- ノートパソコン並みのGPU性能を持ち、代替製品として使用できます。
- 取り外し可能なBluetoothキーボード付きレザーケースを付属。取り付ければノートパソコンとして使用できます。
- NFC、Miracast スクリーン送信、Microsoft Officeなどの機能であなたの生活をより便利に、より楽しくします。

タッチスクリーンパネルの機能介紹

前面



後視圖

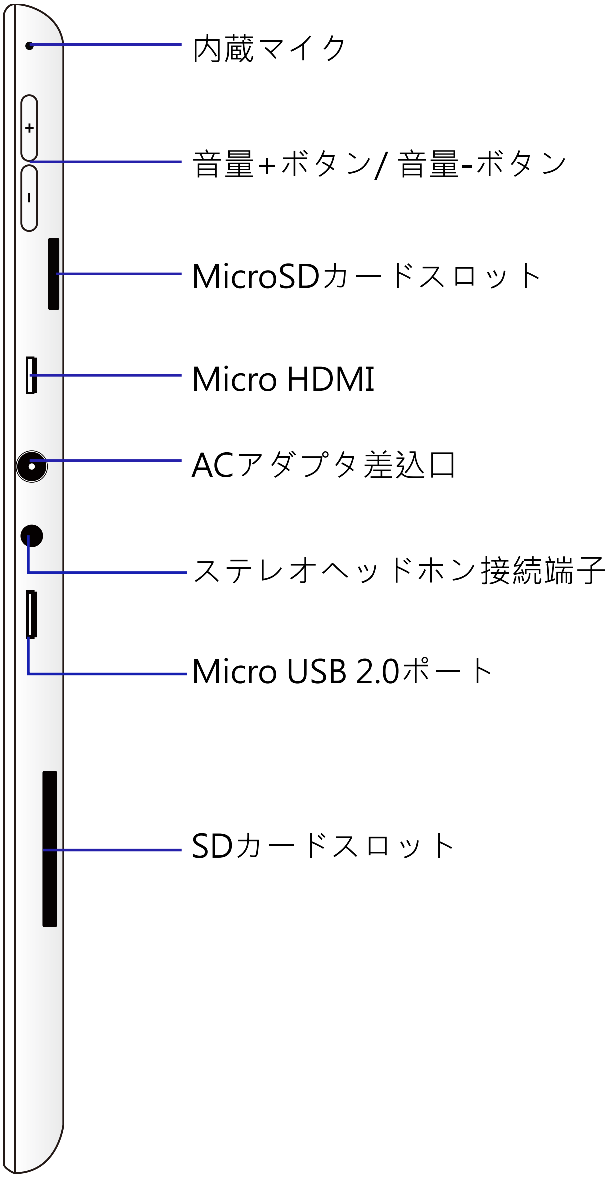


注：

バッテリーランプ

- 緑：デバイス電池残量が80%~100%であることを示します。
- 橙：デバイス電池残量が21%~79%であることを示します。
- 赤：デバイス電池残量が0%~20%であることを示します。

側視圖

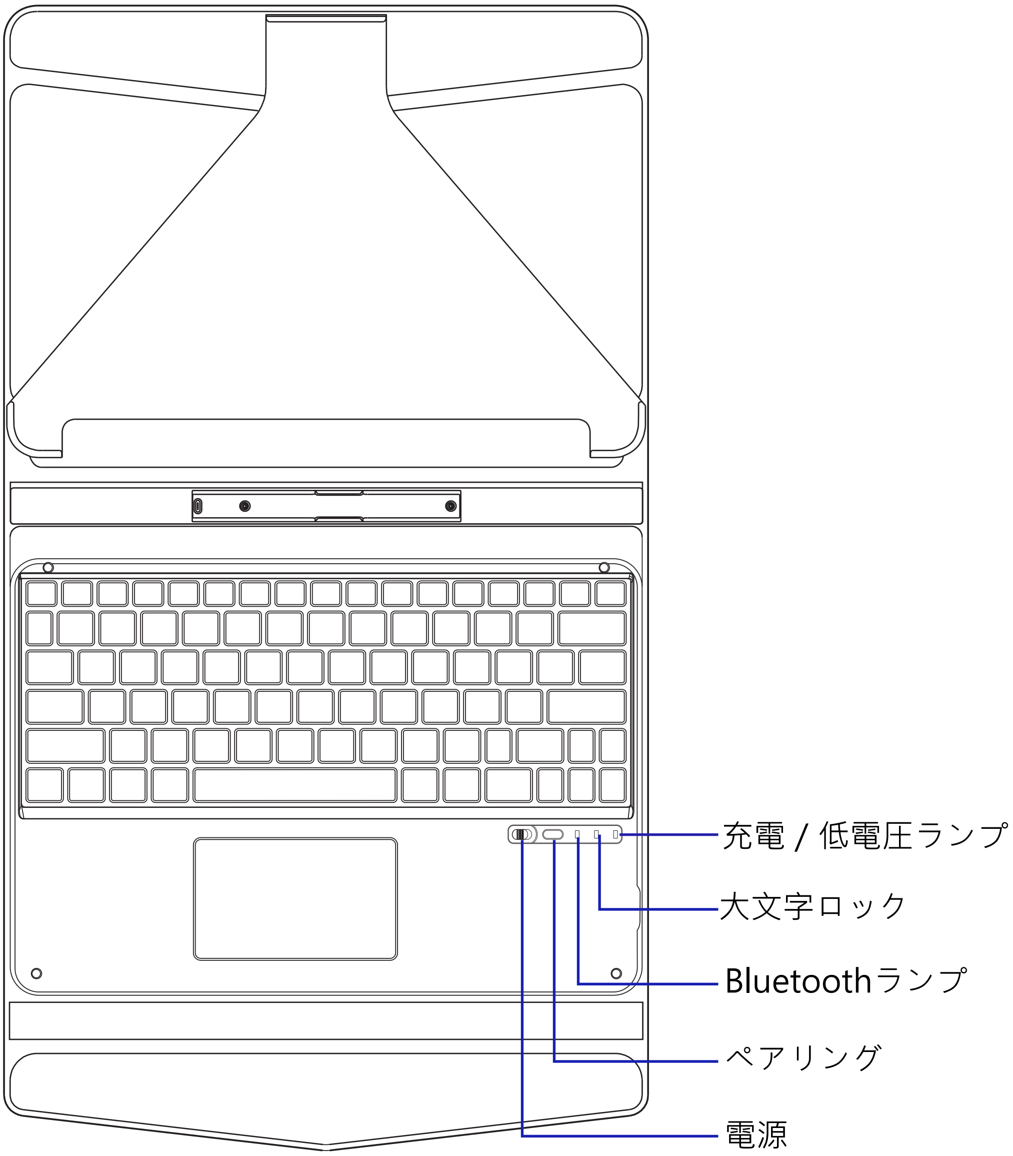


内蔵マイク
音量+ボタン/ 音量-ボタン
MicroSDカードスロット
Micro HDMI
ACアダプタ差込口
ステレオヘッドホン接続端子
Micro USB 2.0ポート
SDカードスロット

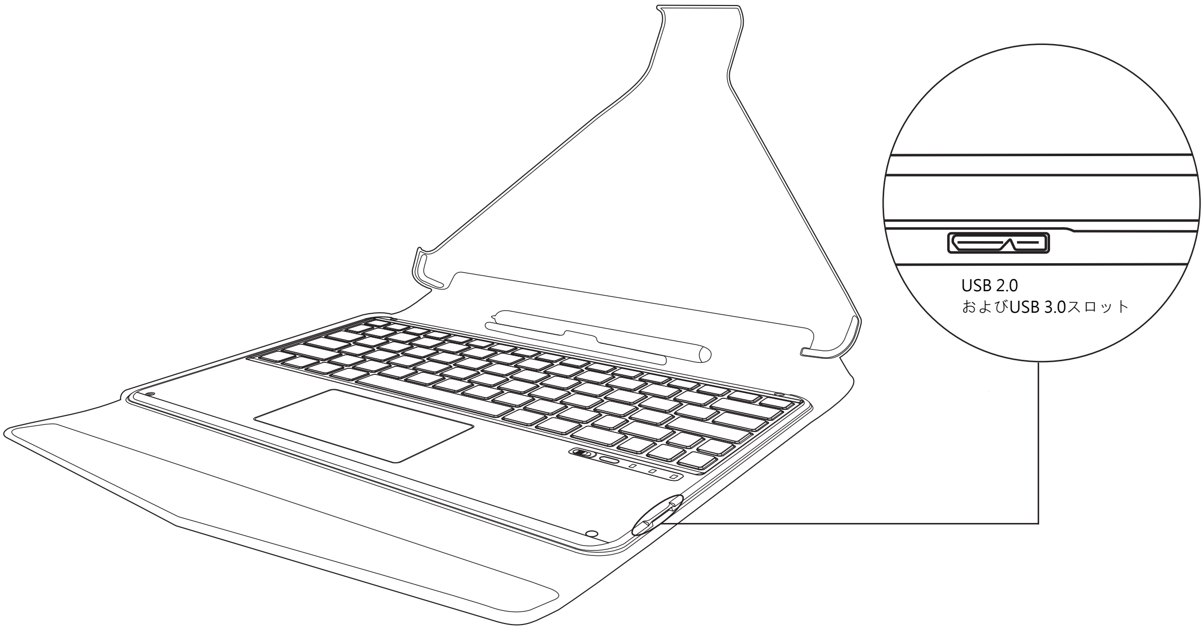
Bluetoothキーボード付きレザーケースの機能介紹

Bluetoothキーボード付きレザーケース

Bluetoothキーボード付きレザーケースとタブレットデバイスを組み合わせると、ノートパソコンとして使用できます。



側面



2

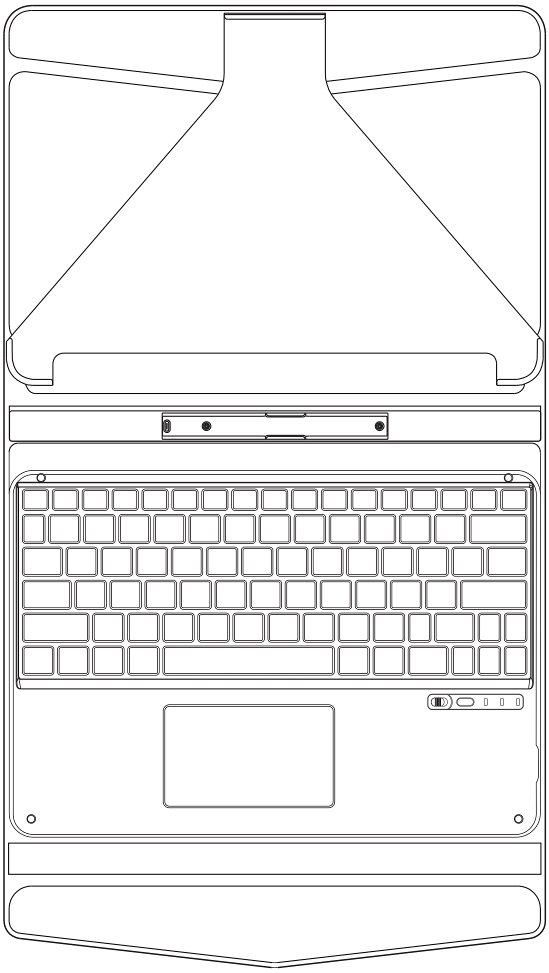
Photon 2を使う

ご使用の前に

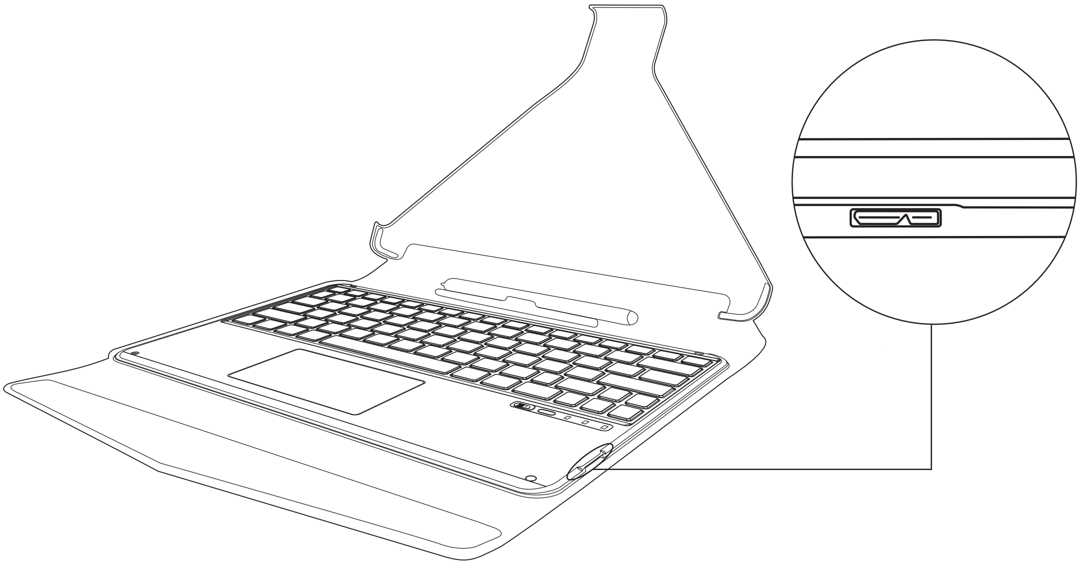
タブレットデバイスをBluetoothキーボード付きレザーケースと接続する

次の指示に従ってデバイスを接続してください

1　Bluetoothキーボード付きレザーケースを開きます。

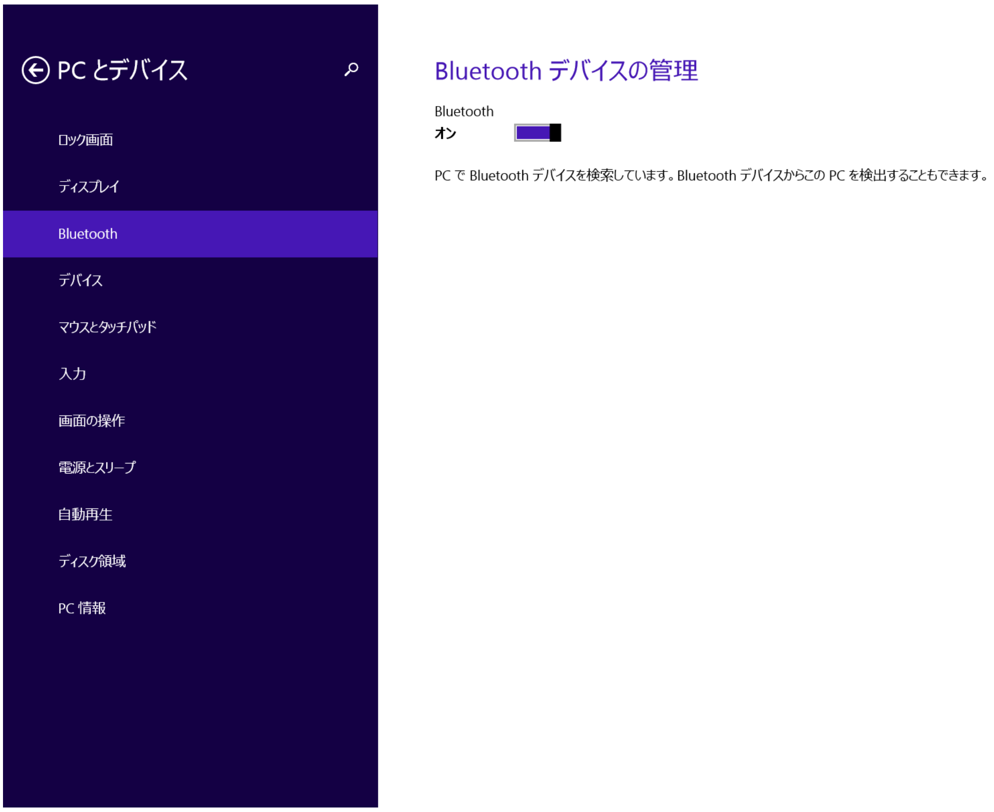


2 Bluetoothキーボード付きレザーケースを図のように折り曲げた後に固定します。

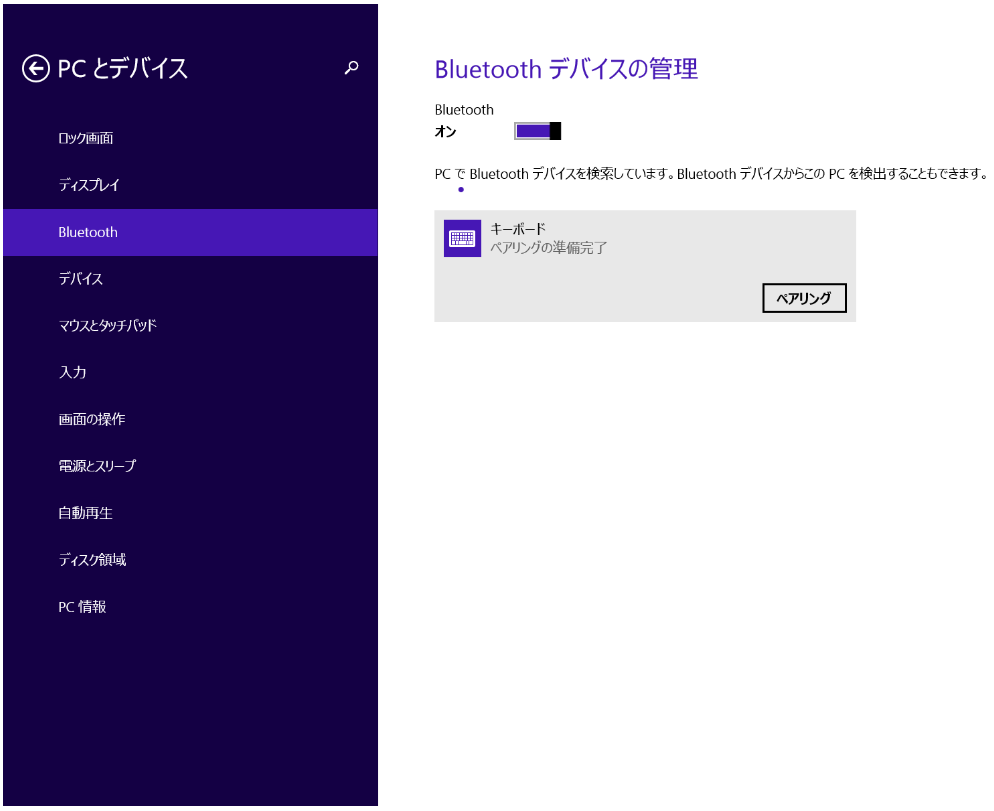


3 タブレットデバイスを溝にはめ込みます。

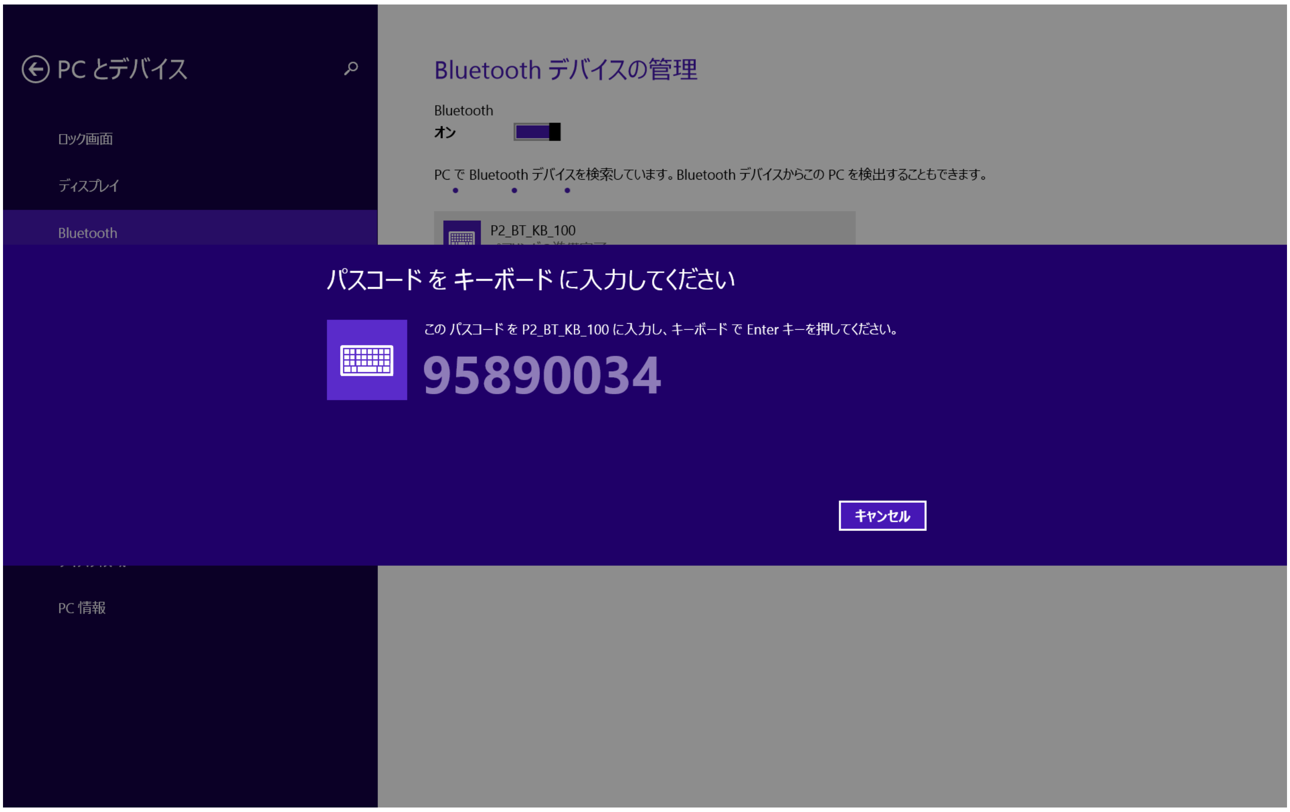
4　「設定」ショートカットキーから「PC設定の変更」→「PCとデバイス」→「Bluetooth」をクリックします。



5　BluetoothキーボードのON / OFFキーをONにします。
スクリーンにBluetoothキーボード名が表示されます。



6　タブレットデバイスの入力スクリーンにキーボードペアリングコードが表示されます。スクリーンにペアリングオプションが表示されない場合は、キーボード右下の「CONNECT」キーを押して再度検索してください。ペアリングが完了すると、次回以降はBluetoothキーボードを起動すれば自動的に接続するようになります。

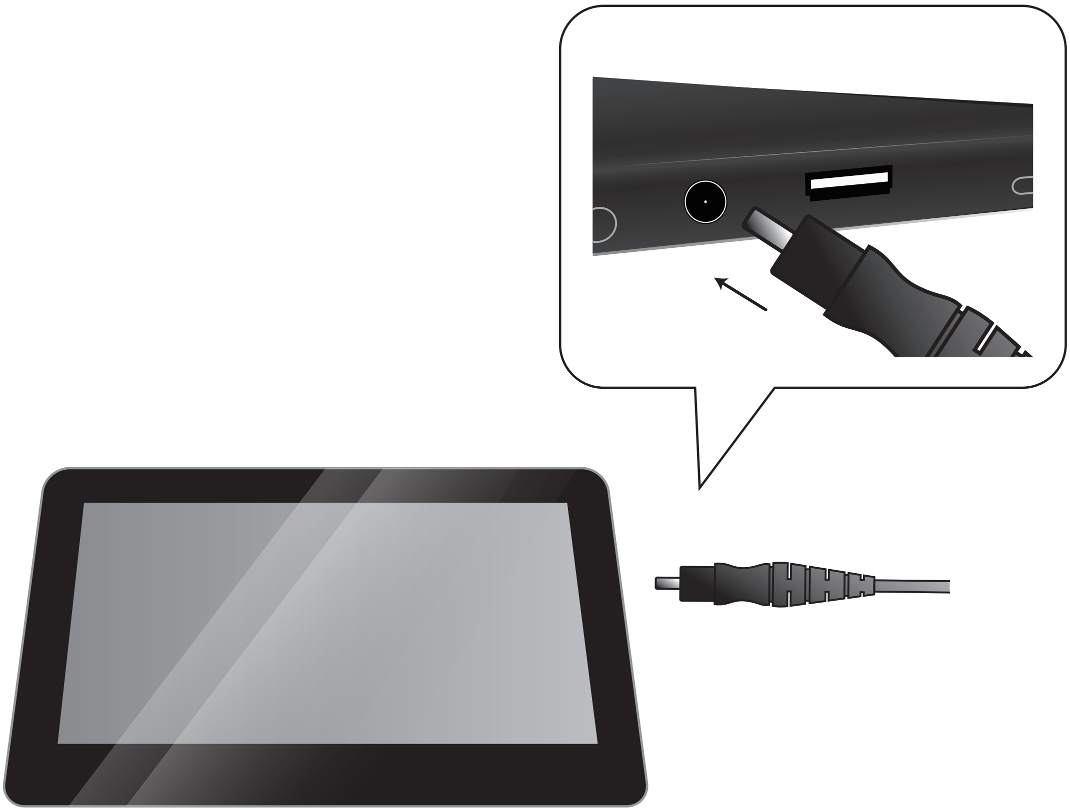


注：
タブレットデバイスをBluetoothキーボード付きレザーケースと接続したら、最下部から機器全体を持ち上げてください。

デバイスを充電する

デバイスの充電は次の手順に従って行ってください。

1　Micro USBプラグをタッチスクリーンのmicro USB 2.0ポートに差し込む。



2　変圧器をコンセントに接続する。

注：

- 初めて使用する前にはデバイスを3.5時間充電してください。
- Photon 2認可スペックに適合する変圧器を使用してください。
- 電源変圧器情報
    - 入力電圧：100-240 V
    - 入力周波数帯：50-60Hz
    - 入力電流：1.3A
    - 電圧出力：19V

デバイスを起動する

デバイスの電源キーを1秒押してデバイスを起動します。
初めて電源を入れた時はスクリーンに初期設定画面が表示されます。
画面の指示に従って設定を行ってください。

注：

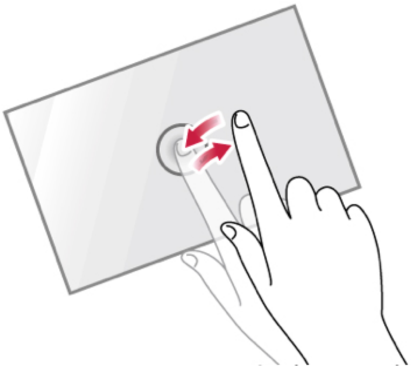
初めて本端末を使用するときは、十分に充電してから電源を入れてください。

タブレットデバイスとタッチパネルの使い方

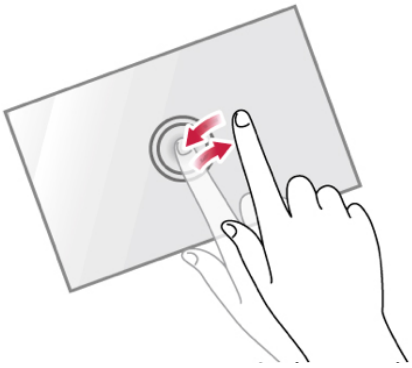
タブレットデバイスを使う

タブレットデバイスのタッチスクリーン（ディスプレイ）を指で軽く触れて操作を行ってください。
タブレットデバイスのライブタイルモードでの主な操作方法を説明します。

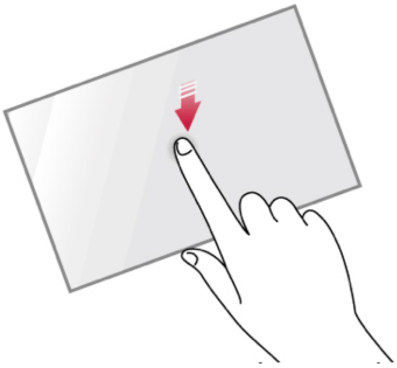
ダブルタップする
表示内容の拡大／縮小



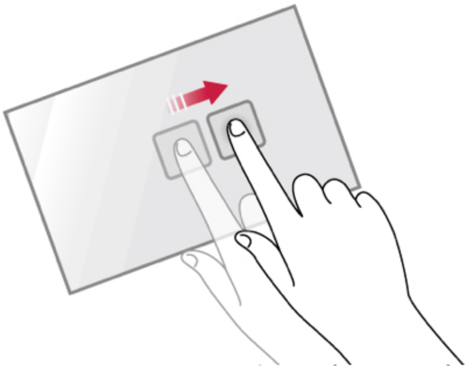
タップする
選択／実行



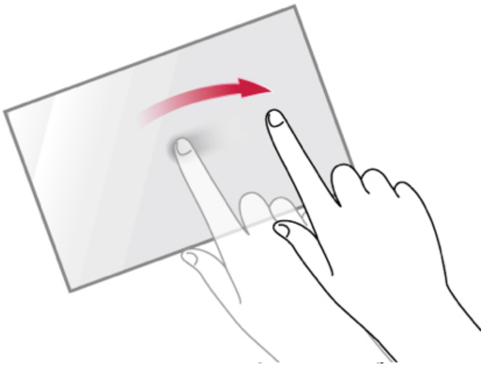
ロングタッチする
メニューなどを表示



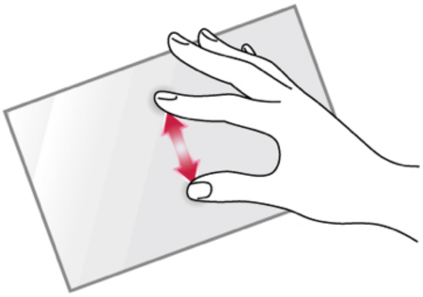
ドラッグする
アイコンの移動／画面のスクロール



スワイプする
ページ／表示内容の切り替え



ピンチアウト／ピンチイン
表示内容の拡大／縮小



Bluetoothキーボードを使う

Windows 8のファンクションキー

このキーをクリックするとスタート画面に戻ります。
スタート画面でこのキーをクリックすると、前回起動したアプリに戻ります。

その他のキーボードショートカットキー

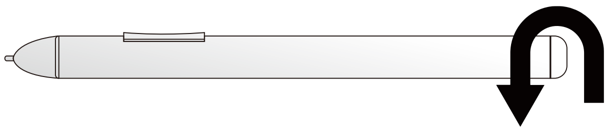
キーボードショートカットキー	
Win	スタート画面と前回起動したアプリとを切り替える。
Win+L	ロックスクリーンロック設定を開く。
Win+M	Internet Explorer ウィンドウを最小化する。
Win+O	自動回転機能をOn / Offにする。
Win+E	デスクトップモード下の「PC」ウィンドウを開く。
Win+D	「デスクトップ」を開く。
Win+R	「実行」ウィンドウを開く。
Win+Space	言語を切り替える。
Win+F	「ファイル検索」ウィンドウを開く。
Win+H	「共有」ウィンドウを開く。
Win+I	「設定」ウィンドウを開く。
Win+Tab	タスクバーウィンドウを選択する。
Shift	中国語 / 英語を切り替える。
Win+Enter	リーダー設定を開く。

スタイラスペンを使う

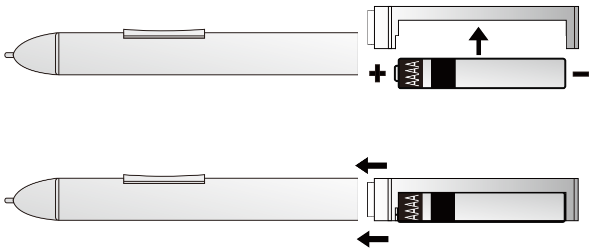
タッチペンに電池を入れてください

スタイラスペンを使う前に、指示に従って電池を入れてください。

1　スタイラスペン端の電池カバーを開けます。



2　電池コンパートメントのばね側を下に向け、スタイラスペンに入れて、 電池カバーを閉めます。



3　スタイラスペンの使い方については、次の説明を参考にしてください。

タッチペンの基本的な使い方について

“スクリーン上でポインターを移動する”
(直観的操作:マウスポインターの移動)

スタイラスペンを握ってスクリーンに近づけ(接触させる必要はありません)、 ペンを移動させたい方向に動かします。

“タップ”
(直観的操作:マウスの左クリック)

スタイラスペンを握り、ポインターをアイコンまたはファンクションメニュー の上に移動してタップします。通常はファイルの決定と選択に使用します。

“素早く2回タップ”
(直観的操作:マウスのダブルクリック)

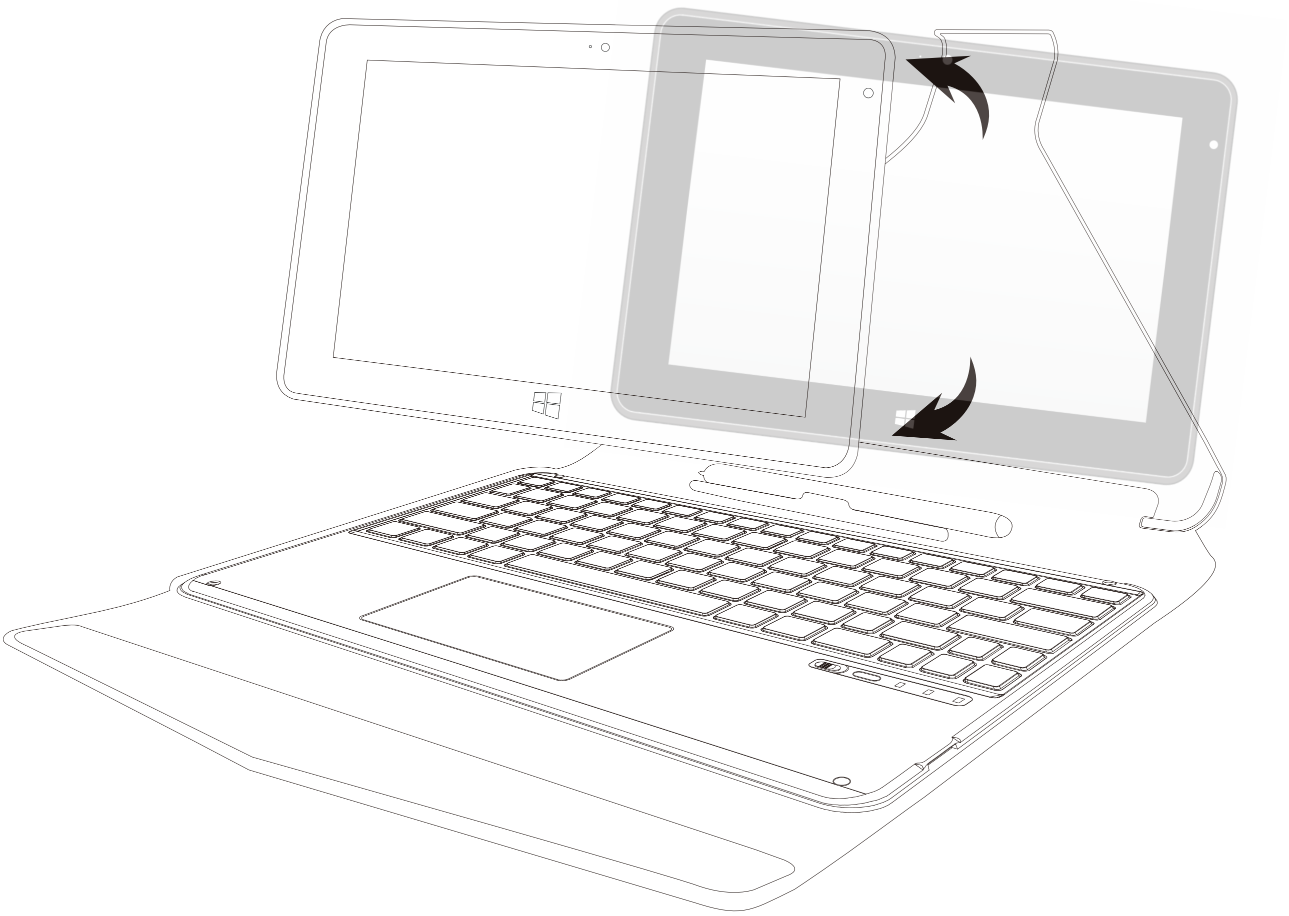
ペンを握り、ポインターをアイコンの上に移動し、素早く2回タップすると、 アプリを起動したり、ファイルを開いたりできます。

スタイラスペンのボタンについて

スタイラスペンには “上” と “下” 二つのボタンがついています。ソフト ウェアに応じ、消しゴムとマウスの左ボタンの機能を利用することが できます。(スタイラスペンのキー機能は使用するソフトウェアによっ て異なります。)

タブレットデバイスを外す

後に軽く倒し、上ほぞ、左ほぞ、右ほぞの順に外し、タブレットPCをゆっくり取外します。



3

Windows 8.1を使う

初めてスタート使用

当初めてデバイスを起動すると、Windows 8.1 OSの基本設定を行うガイドが開きます。設定は次の手順に従って行ってください：

1 デバイスの電源キーを押します。設定画面が表示されるまで数分間お待ちください。

2 使用する言語を選択します。

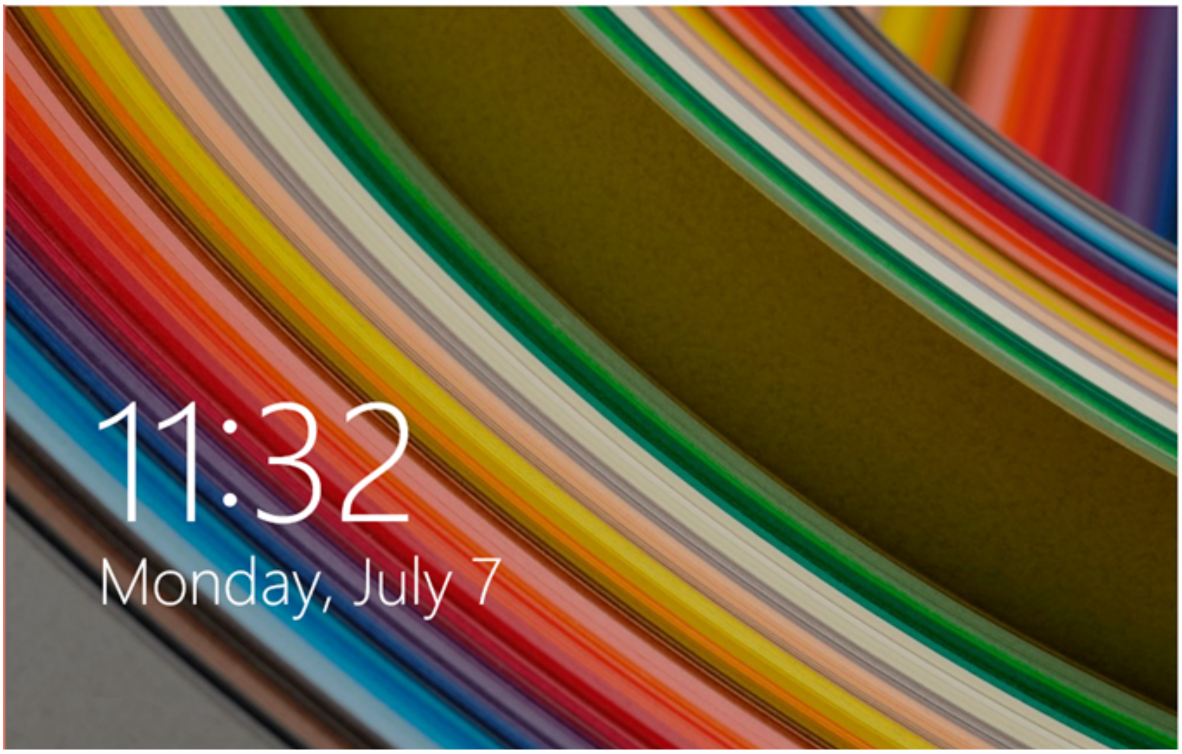
3 ライセンス契約の内容を確認し、「Accept」をクリックしてください。

4 画面の指示に従って次の項目を設定します。
- カスタマイズ
- 無線LAN
- 設定
- デバイスログイン

5 基本設定が完了すると、Windows 8.1の使い方ガイドが開きます。
ガイドを確認してWindows 8.1の様々な機能について理解してください。

Windows 8.1 ロック画面

デバイスがWindows 8.1 OSに認識されると、Windows 8.1 ロック画面が表示されます。続けて使用するにはロック画面をクリックするか、デバイスキーボードのいずれかのキーを押してください。



Windows インタフェース

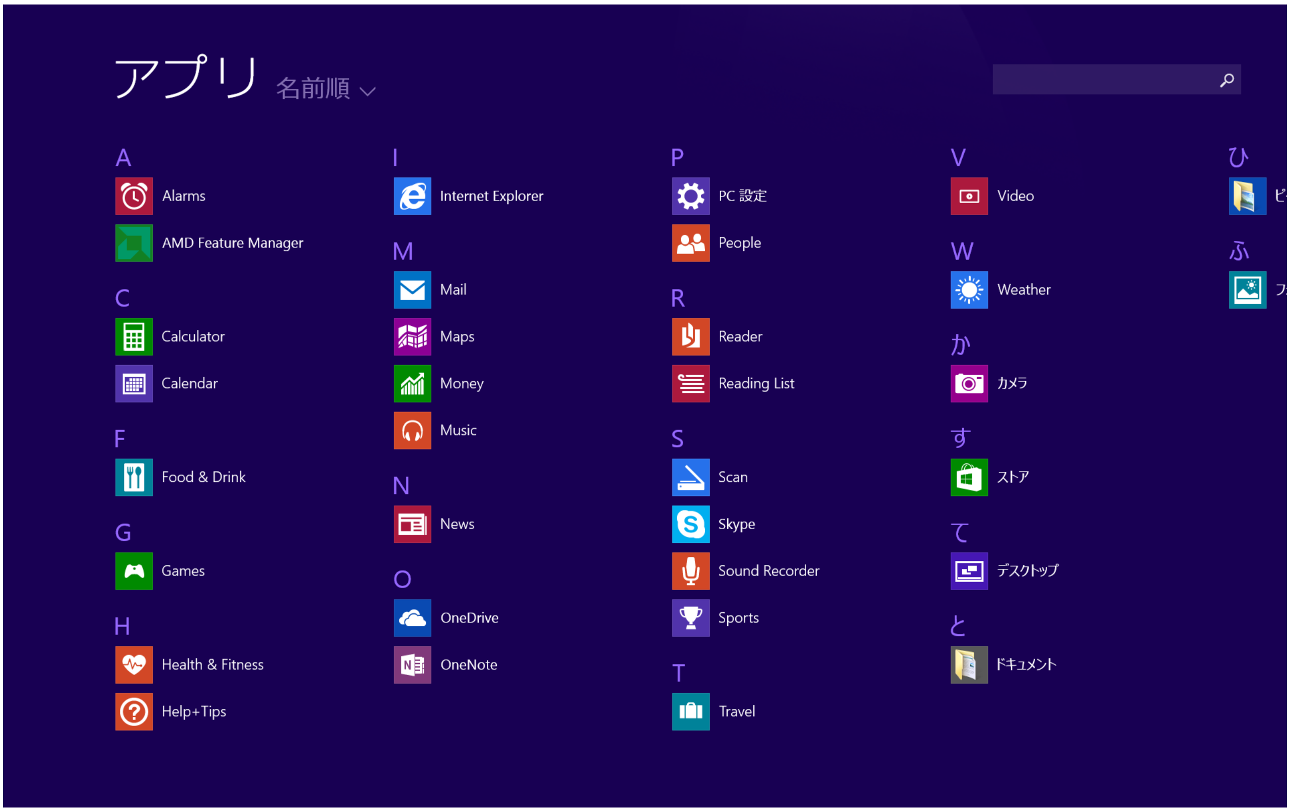
Windows 8.1 の操作インタフェースはライブタイルで表示されます。ライブタイル表示インタフェースでは、スタート画面から簡単にWindowsアプリを取り出し、配置し、あなただけのユーザインタフェースに配置できます。ノートパソコンで使用できる次の機能も有します。

スタート画面

ユーザアカウントでログインすると、スタート画面が表示されます。
スタート画面では、必要な全てのソフトウェアとアプリを一箇所に集めて管理できます。

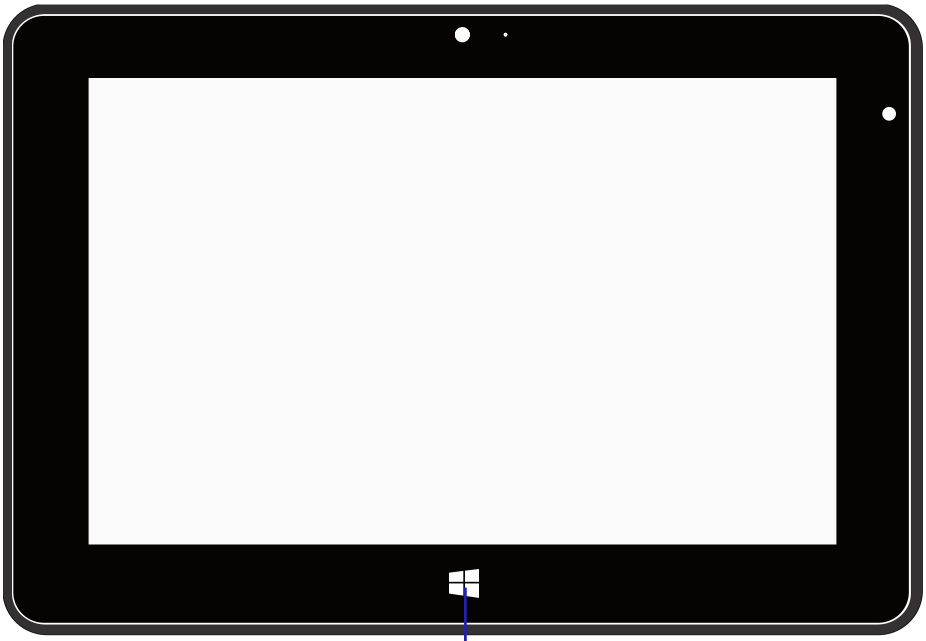
Windows アプリ

全てのアプリがライブタイルで表示され、簡単に配置できます。



スタートボタン

Windows 8.1のスタートボタン機能で直近に起動した2つのアプリを切り替えます。
どのインタフェースまたは起動中のアプリでもスタートボタンが使用できます。



windowsスタートボタン

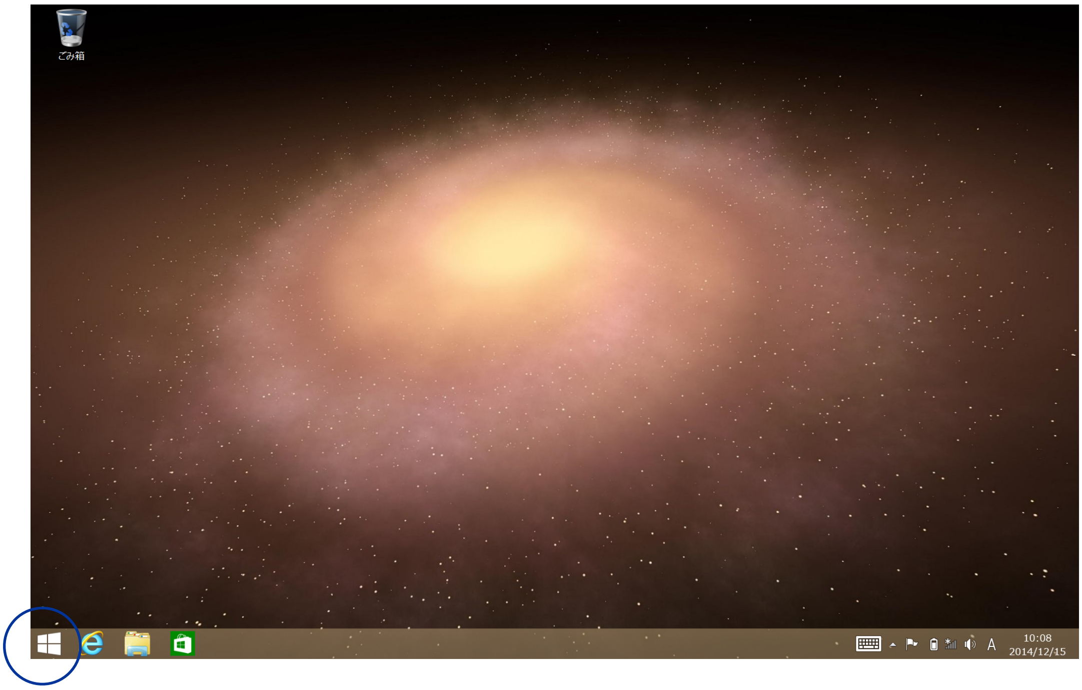
スタート画面のスタートボタン

マウスポインターをスタート画面 / 起動中のアプリの左下端に移動すると、スタートボタンが表示されます。

注：

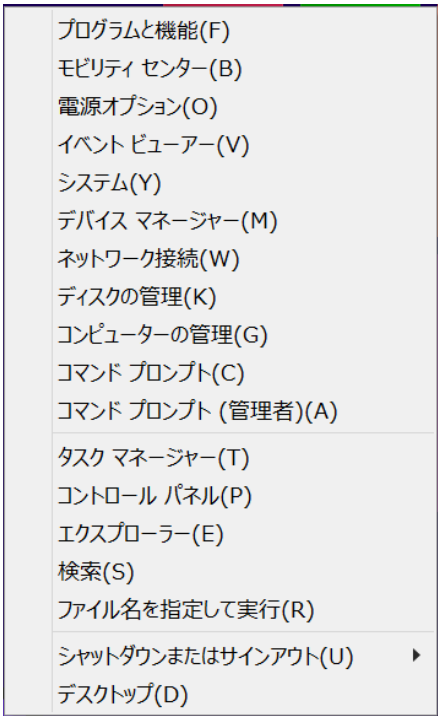
- スタートボタンのカラーは表示設定でスタート画面として選択したカラーとなります。
- Bluetoothキーボードのタッチパネルを使用する場合は、使用できるのはスタート画面のスタートボタンのみとなります。

デスクトップのスタートボタン



メニュー

ポインターをスタートボタンに移動して右クリックすると、Windows 8.1アプリショートカットを含むメニューが表示されます。



スタート画面のカスタマイズ

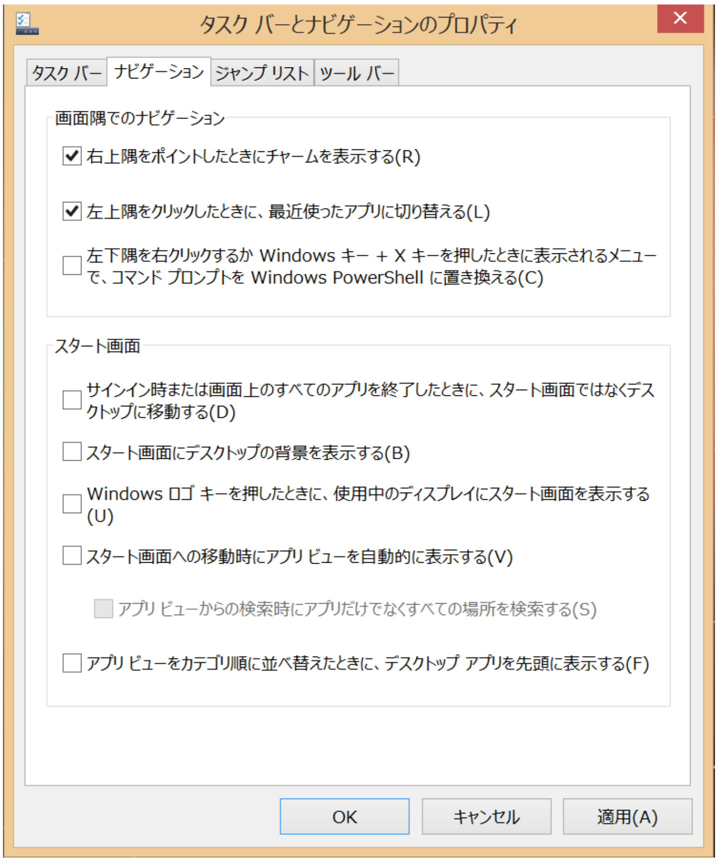
Windows 8.1ではカスタマイズスタート画面を簡単にカスタマイズでき、電源を入れるとそのままデスクトップモードになるようにしたり、アプリをスクリーン上でどこに配置するかを設定できます。
スタート画面のカスタマイズ設定は次の手順に従って行ってください。

1 「デスクトップ」をクリックして起動します。

2 スタートボタンを除くタスクバーの上で右クリックし、ポップアップウィンドウを開きます。

3 「プロパティ」をクリックして「ナビゲーション」を選択し、適用したいナビゲーションとスタート画面のオプションにチェックを入れます。

4 「適用」をクリックして新しい設定内容を保存し、離れます。



Windowsアプリで作業を行う

デバイスのタッチスクリーン、タッチパネルまたはBluetoothキーボードを使用し、アプリを起動、カスタマイズします。

アプリを起動する

タッチスクリーン

スクリーンのアプリアイコンをクリックしてアプリを起動します。

タッチパネル

マウスポインターをアプリの上に移動し、左クリックまたはクリックしてアプリを起動します。

Bluetoothキーボード

Tab キーを二回押し、方向キーを使ってすべてのアプリケーションプログラムを閲覧します。

Enter キーを押して選択したアプリケーションプログラムを実行します。

スタート画面とアプリをカスタマイズする

次の説明に従ってアプリライブタイルの大きさ変更、アプリ移動、アプリピン留め取り消しを行い、スタート画面とアプリをカスタマイズします。

アプリライブタイルの大きさを変更する

タッチスクリーン

1 ライブタイルを約1秒押して離すと、「カスタマイズ」タスクバーが開きます。

2 サイズを変更する アイコンをタッチしてタイルのサイズを選択します。

タッチパネル

アプリケーションプログラムを右クリックすると設定メニューが開くので、サイズを変更する アイコンをタッチしてタイルのサイズを選択します。

アプリを移動する

タッチスクリーン

アプリライブタイルをクリックして押さえ、新しい位置までドラッグします。

タッチパネル

アプリの上でダブルクリックし、新しい位置までドラッグします。

アプリピン留めの取り消し

タッチスクリーン

1　ライブタイル約1秒クリックして離すと、「カスタマイズ」タスクバーが開きます。

2　

アイコンをクリックしてアプリピン留めを取り消します。

アプリを終了する

タッチスクリーン

起動中のアプリの最上部をクリックし、スクリーン最下部までドラッグするとアプリを終了します。

タッチパネル

1　マウスポインターを起動中のアプリの最上部に移動し。

2　アプリを画面の最下部までドラッグして離すとアプリを終了します。

Bluetoothキーボード

起動中のアプリ画面で Alt + F4 を押します。

全てのアプリを実行する

スタート画面にピン留めしたアプリを除いて、全てのアプリの画面で他のアプリを起動することもできます。

全てのアプリ画面を開く

デバイスのタッチスクリーン、タッチパネルまたはキーボードを使用して全てのアプリ画面を開きます。

タッチスクリーン

最上部または最下部から下また上に向かってスワイプし、「全てのアプリ」メニューを開きます。

タッチパネル

スタート画面で⬇をクリックします。

Bluetoothキーボード

スタート画面で Tab キーを押してから、 Enter キーを押します。

もっと多くのアプリをピン留めする

タッチスクリーンとタッチパネルを使用してスタート画面にもっと多くのアプリをピン留めできます。

タッチスクリーン

1 アプリライブタイルを約1秒クリックして離すと、「カスタマイズ」タスクバーが開きます。

2

アイコンをクリックして、選択したアプリをスタート画面にピン留めします。

タッチパネル

1 マウスポインターをスタート画面にピン留めしたいアプリの上に移動します。

2 アプリの上で右クリックして設定画面を開きます。

3 [タスクバーにピン止めする]をクリックします。

チャームバー（Charms bar）

チャームバーをスクリーン右端のタスクバーに固定し、隠します。チャームバーを使ってアプリをシェアしたり、デバイスのカスタマイズ設定の内容を素早く取り出したりすることができます。

チャームバー

チャームバーを開く

タッチスクリーン、タッチパネルまたはキーボードを使って「チャームバー」を開きます。

タッチスクリーン	スクリーンを右から左にスワイプします。
タッチパネル	マウスポインターをスクリーンの右上端または右下端に移動します。
Bluetoothキーボード	⊞ + C キーを押します。

チャームバー（Charms bar）の機能説明

検索

「検索」アイコンをクリックすると、ノートパソコン内のファイルまたはアプリを検索できます。

シェア

「共有」アイコンをクリックすると、SNSサイトまたはEメールによりアプリをシェアできます。

スタート

「スタート」アイコンをクリックすると、スタート画面に戻ります。スタート画面では、この機能を使用して前回起動したアプリに戻ることもできます。

機器

「機器」アイコンをクリックすると、ノートパソコン側の機器（外付けモニター、プリンターなど）と接続し、ファイルへのアクセスやシェアができます。

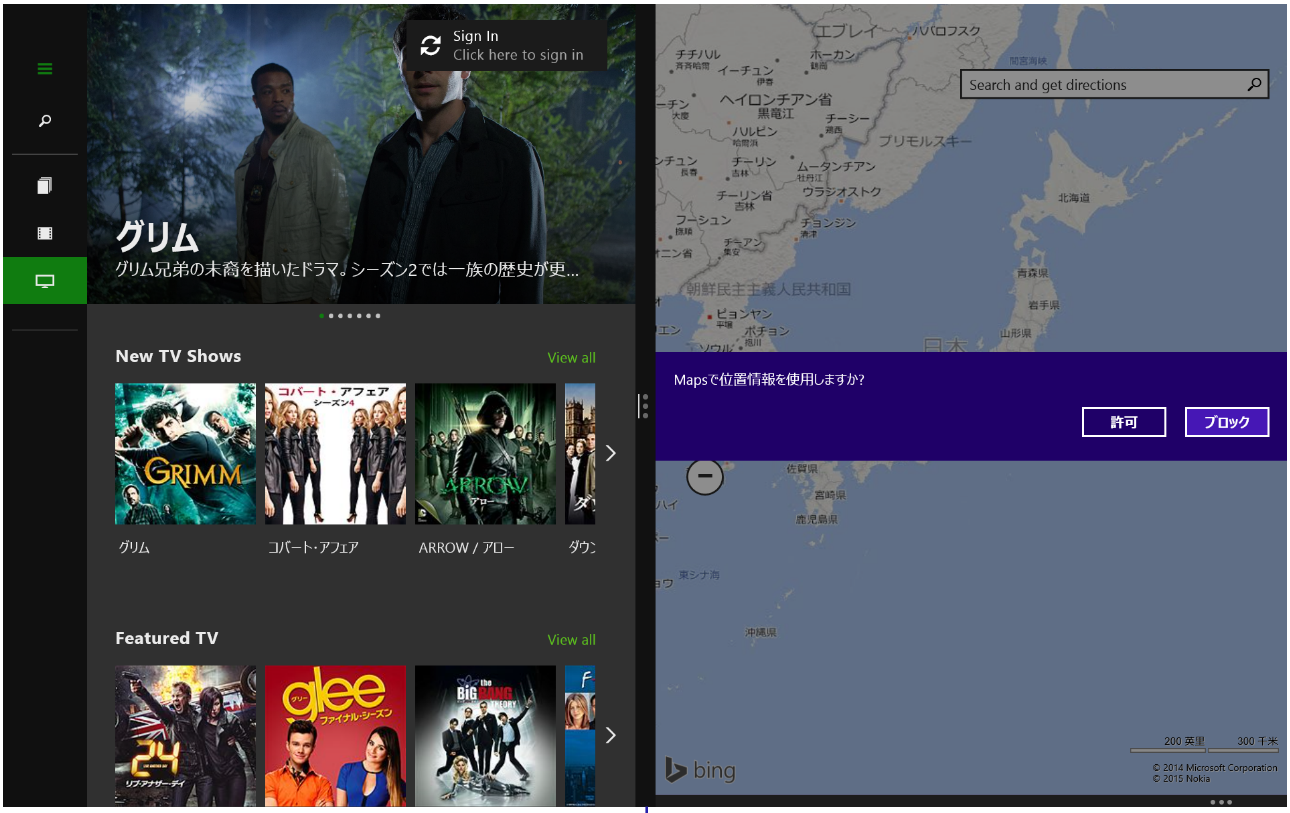
設定

「設定」アイコンをクリックすると、ノートパソコンの設定内容にアクセスできます。

スナップ（Snap）機能

スナップ機能を使用すると、ノートパソコン上で同時に2つのアプリを起動できます。スナップ機能を実行すると、スクリーンにスナップバーが表示され、スクリーンが2つの画面に分割されます。

> **注：**
> スナップ機能を使用するには、スクリーン解像度が1366ピクセル×768ピクセル以上必要です。



柵を分割します

スナップ（Snap）機能を使う

デバイスのタッチスクリーン、タッチパネルまたはキーボードを使用してスナップ機能を実行します。

タッチスクリーン

1 スナップ画面で使用したいアプリを起動します。

2 アプリ最上部をクリックして押さえ、スナップバーが表示されるまでスクリーン左側または右側にドラッグします。

3 もう1つのアプリを起動します。

タッチパネル

1 スナップ画面で使用したいアプリを起動します。

2 マウスポインターをスクリーン画面最上部に移動します。

3 アプリケーションプログラムをドラッグしてモニター画面の右側または左側に置きます。

4 もう1つのアプリを起動します。

Wi-Fi 無線LAN

Wi-Fi

デバイスの Wi-Fi 無線LANを使用して無線でインターネットに接続し、サイト閲覧、Eメール確認、アプリのダウンロードやシェアアプリなどの機能を実行できます。

注：
デバイスのWi-Fi機能を使用する前に機内モードが終了されていることを確認してください。

Wi-Fi 無線LANを実行する

1　デスクトップモードで をクリックします。

2　利用可能なWi-Fi接続の中から接続先の名称を選択し、「接続」をクリックします。

3　情報がポップアップ表示されたら、パスワードを入力し、「次に進む」をクリックします。

Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器との接続

Bluetoothを使用すれば、他のBluetooth機器に対して簡単にデータ送信できます。

注：
デバイスのBluetooth機能を実行する前に機内モードが終了されていることを確認してください。

他のBluetooth機器とのペアリング

1　「設定」

をクリックしてから
「PC設定の変更」をクリックしましてからす。

2　「PCとデバイス」をクリックして「Bluetooth」を実行します。

3　「Bluetooth」が実行されたことを確認します。メニューの中から機器を1つ選択し、画面の指示に従ってペアリングを行ってください。
機器のペアリングコードが必要な場合は、機器の取扱説明書または製造者のホームページをご覧ください。

注：
一部のBluetooth機器では、ポップアップ情報によりノートパソコンのペアリングコード入力が求められることがあります。

機内モード

機内モードに設定すると、Wi-FiとBluetooth機能がOFFになり、機内でもデバイスを安全に使用するとともに電池を節約することができます。

機内モード設定

タッチスクリーン

1　[設定]をクリックし、[インターネット] をクリックします。
2　機内モードをクリックし、右へスライドすると[機内モード]がオンになります。

Bluetoothキーボード

1　[設定]をクリックし、[インターネット] をクリックします。
2　機内モードをクリックし、右へスライドすると[機内モード]がオンになります。

關閉飛航模式

タッチスクリーン

1　[設定]をクリックし、[インターネット] をクリックします。
2　機内モードをクリックし、左へスライドすると[機内モード]がオフになります。

Bluetoothキーボード

1　[設定]をクリックし、[インターネット] をクリックします。
2　機内モードをクリックし、左へスライドすると[機内モード]がオフになります。

注：
機内でのデバイス使用に関する制限については航空会社にお問い合わせください。

デバイスの電源を切る

次の手順に従ってください。

- [設定]

をクリックし、[オン/オフ]

→[シャットダウン] をクリックします。
- 従「スタート」 画面で「電源」

→「OFF」をクリックします。
- デバイスの電源キーを約10秒押して強制的に電源を切ります。

デバイスをスリープモードにする

次の手順に従ってください。

- 電源キーをもう1回押すとデバイスがスリープモードに入ります。
- [設定]

をクリックし、[オン/オフ]

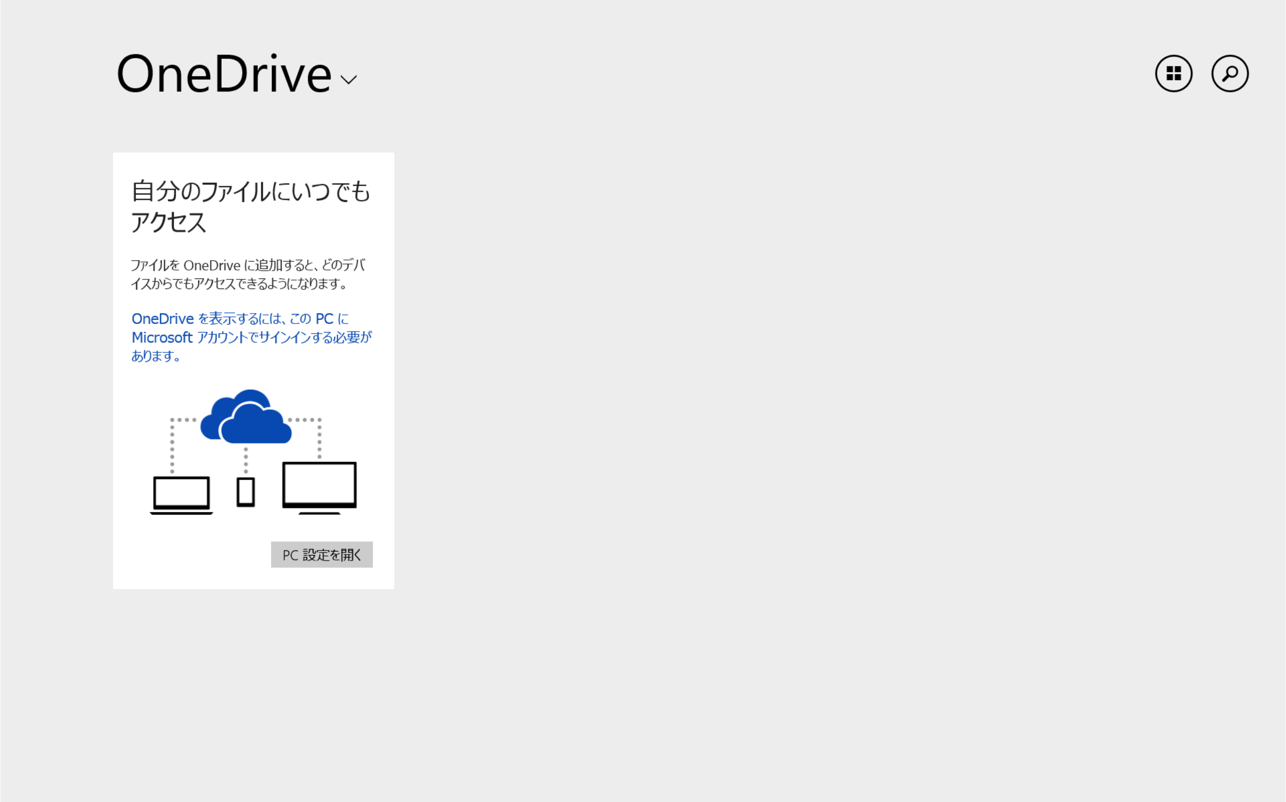
→[スリープ] をクリックします。

4

アプリについて

OneDrive

OneDriveは、インターネットを通じたドライブとクラウドサービスです。ファイルをインターネット上のサーバーにアップロードしたり、インターネットブラウザを通じてファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりすることができます。デバイスに付属されたOffice Onlineはそのまま編集、閲覧、ファイルシェアできます。
詳しい説明については製造者のホームページをご覧ください：
http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/getting-started-onedrive-tutorial



カメラ

撮影、録画及びビデオなどの機能を実行できます。

静止画 / 動画撮影：

[カメラ]アプリケーションプログラムを開き、モニター上の[写真]ボタンまたは[ムービー]ボタンをクリックします。

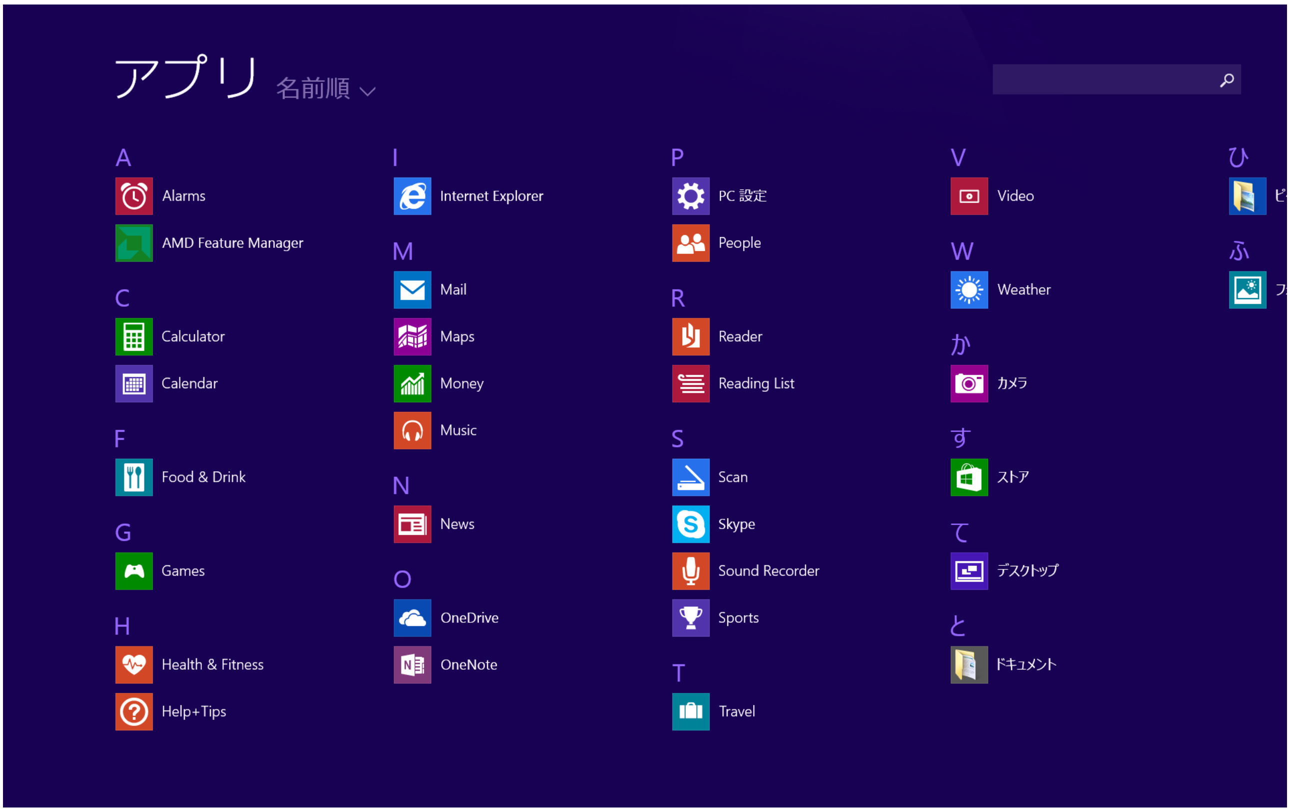
静止画、動画の確認：
右にスワイプすると、最近撮影した全ての静止画と動画を確認できます。画面の上または下にスワイプしてから「携帯電話アルバム」をクリックすることもできます。

注：

動画撮影中にスクリーンのいずれかの位置をクリックすると、動画撮影を中断せずに静止画を撮影できます。

アプリをインストールする

検視アプリ：「スタート」画面の中央から上に向かってスワイプし、または「スタート」
Ⓥ左下の（右図）をクリックすると、アプリメニューが表示されるので、アプリ名入力またはタップして全てのアプリを確認できます。



もっと多くのアプリをインストールしたい場合は、インターネットに接続してからWindowsストアにアクセスし、Microsoftアカウントでログインしてください。

1 「スタート」画面で「ストア」をクリックしてWindowsストアにアクセスします。

> **注：**
> メッセージが表示されたら、Microsoftアカウントを入力してログインしてください。

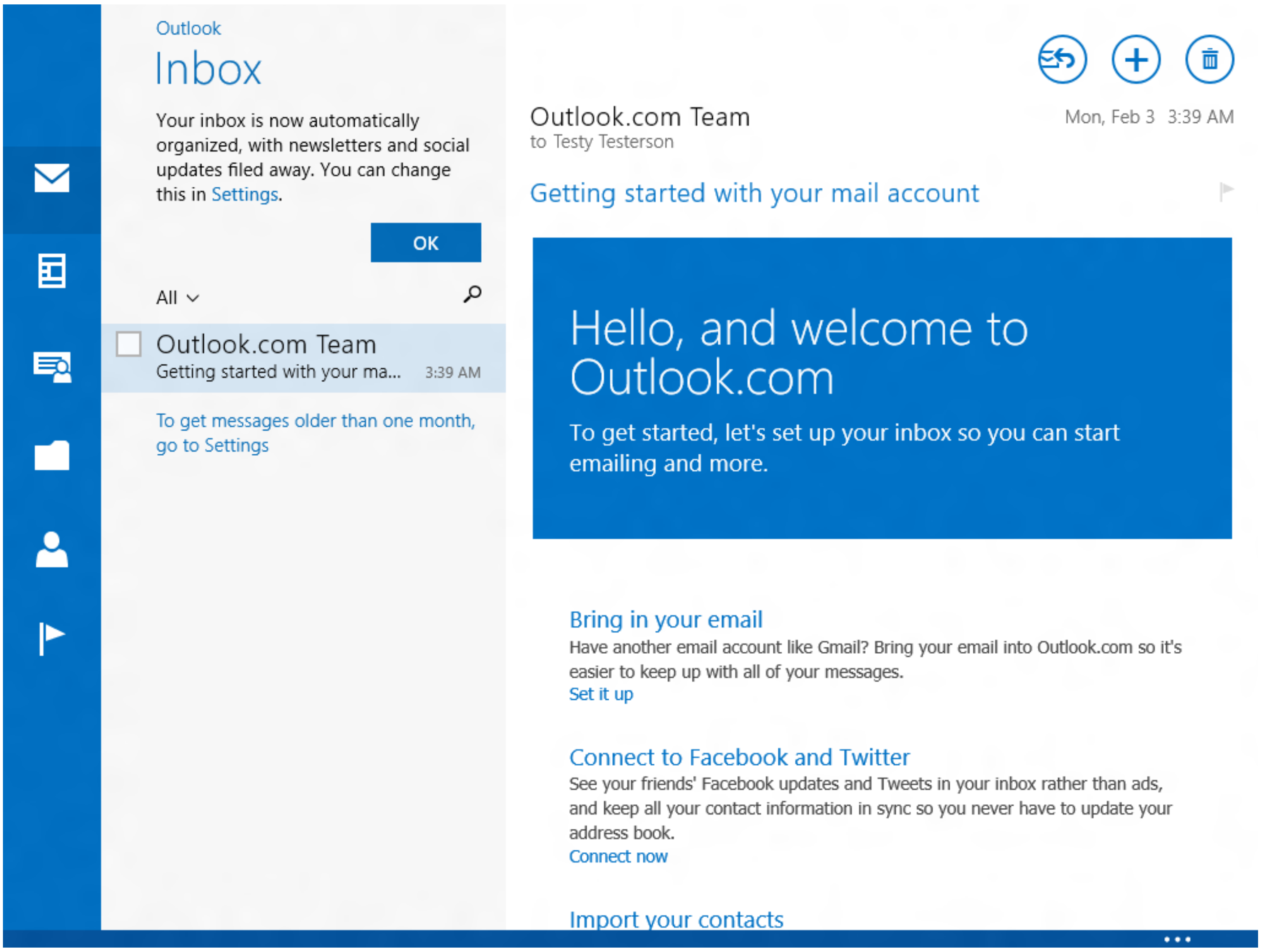
2 アプリは次の手順に従って探してください：
- スクリーン上で指をドラッグしてアプリを閲覧する。
- 「タイプ」（「新規」など）をクリックしてアプリを確認します。
- 検索ウィンドウにダウンロードしたいアプリ名を入力します。
- アプリのタイプを確認したい場合は、画面を上から下に向かってスワイプします。

3 アプリをクリックすると、概要や評価を確認できます。

4 「インストール」をクリックしてダウンロードします。

Eメール

全てのEメールアカウントでメッセージの確認、返信ができます。
詳しい説明については製造者のホームページをご覧ください：
http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/setup-email-contacts-tutorial

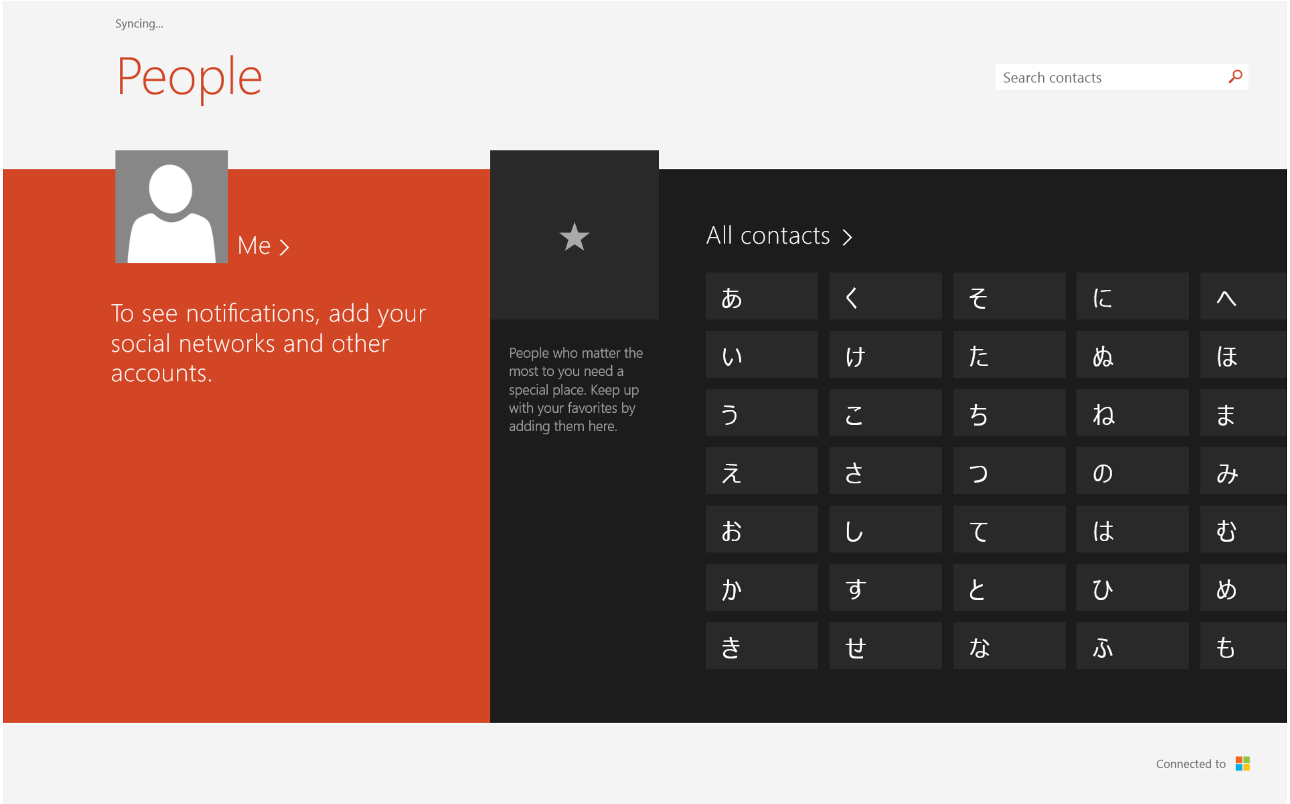


People

PeopleとSNSアカウントFacebook / Twitterなどを1つのアプリに統合し、投稿記事や写真をリアルタイムに確認します。

- 連絡先を「スタート」にピン留め：連絡先をクリックし、画面を上から下にスワイプし、「スタート画面」をクリックしてピン留めする。
- 記事を投稿する：画面を上から下にスワイプし、「私」をクリックし、記事作成後に「送信」をクリックする。

詳しい説明については製造者のホームページをご覧ください：
http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/people-app-faq



Calendar

全てのカレンダーを1つのアプリに統合し、参加イベントや招待に関するリマインドを行います。
詳しい説明については製造者のホームページをご覧ください：
http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/calendar-app-faq

5

トラブルシューティング

トラブルシューティング

- デバイスをリカバリする
- デバイスをフルリカバリする
- 詳細オプション

デバイスをリカバリする

個人ファイルまたは設定変更内容を失わずデバイスを再インストールできます：

1 「設定」 をクリックします。

2 「PC設定の変更」をクリックします。

3 「アップデートとリカバリ」→「リカバリ」をクリックします。

4 [ファイルに影響を与えずに PC をリフレッシュする]セクションより、[リフレッシュ開始]をクリックします。

> **注：**
> デバイスを再インストールする前に、ノートパソコンが外部電源に接続されていることを確認してください。

デバイスをフルリカバリする

將デバイスを工場出荷時の状態に戻します。

1 「設定」 をクリックします。

2 「デバイス設定変更」をクリックします。

3 「アップデートとリカバリ」→「リカバリ」をクリックします。

4 [すべてを削除して Windows を再インストール]セクションより、[リセット開始]をクリックします。

> **注：**
> - このオプションを実行する前に全てのデータをバックアップしてください。
> - デバイスを再インストールする前に、ノートパソコンが外部電源に接続されていることを確認してください。

詳細オプション

Windows OSの起動設定を変更したり、外部機器またはデバイス画像からWindowsOSをリカバリしたりできます。

1　「設定」

をクリックします。

2　「デバイス設定変更」をクリックします。

3　「アップデートとリカバリ」→「リカバリ」をクリックします。

4　「詳細起動」で「今すぐ再起動」→「トラブルシューティング」→「詳細オプション」をクリックします。

5　画面の指示に従ってデバイスを再起動します。

> **注：**
> 定期的にバックアップを行い、ノートパソコンの突然の故障によるデータ消失に備えることをおすすめします。

6

Q&A

ハードウェアQ&A

1. タッチスクリーン各部の反応が遅かったり、誤りが起きた場合は、どうやって解決したらいいでしょうか？
   指を乾かし、Photon 2を再起動してから操作してください。問題が改善されず、デバイスの機能に影響が出始めた場合は、当社のサービス担当者にお問い合わせください。

2. どうすればタブレットの電池耐用年数を長くできるでしょうか？
   - ACアダプタを使用し、旅行時の必要に備えます。
   - 必要のないPCカードは外しておきます。
   - タブレットデバイスを涼しく乾燥した場所で保管してください。高温は電池の自然放電を加速します。
   - 使用していないUSB機器を外しておきます。
   - 過充電は電池の耐用年数を縮めてしまいます。

3. 音楽 / 動画ファイル再生時の音質が悪い / 音声が出力されない場合は、どうやって解決したらいいでしょうか？
   次の点を確認してください：
   - スピーカーの音量を最低にしていないかどうか。
   - スピーカーのサイレント機能を終了しているかどうか。
   - イヤホンを接続している場合は、イヤホンをいったん抜いてから再度接続してみてください。

4. 電池がうまく充電されない場合は、どうやって解決したらいいでしょうか？
   ACアダプタが正しく接続されているかどうか確認し、正しく接続されているのに充電できない場合は、当社のサービス担当者にお問い合わせください。
   - 入力電圧：100-240 V
   - 入力周波数帯：50-60 Hz
   - 入力電流：1.3 A
   - 電圧出力：19 V

5. ポインターが勝手に移動し、キーボードで正しく入力できない場合は、どうやって解決したらいいでしょうか？
   キーボード入力時に何かがタッチパネルに触れていたり、押さえつけていないか確認してください。問題が改善されない場合は、当社のサービス担当者にお問い合わせください。

6. スクリーンに画像が表示されない場合は、どうやって解決したらいいでしょうか？
   電力を節約するため、電源管理システムがスクリーンを自動的に暗くすることがあります。電源キーを押せば本来のスクリーン表示に戻ります。これらのことを試した上でなお画像が表示されない場合は、当社のサービス担当者にお問い合わせください。

7.

8. 充電が完了したことをどうやって確認するのでしょうか？
   バッテリーランプ
   - 緑：表デバイス電池残量80～100%。
   - 橙：デバイス電池残量21～79%。
   - 赤：デバイス電池残量0～20%。

ソフトウェアQ&A

1. デバイスの画面が動かなくなったらどうやって電源を切りますか？
   電源キーを4～6秒押すと、強制的に電源を切ることができます。

2. デバイスの電源が入りません。どうやって解決したらいいでしょうか？
   変圧器に接続して電源が入るようになるときは、電池残量が不足していることを示します。

3. インターネットに接続できません。どうやって解決したらいいでしょうか？
   - モバイルデータネットワークを使用している場合は、SIMカードが有効で使用できるものどうか確認してください。
   - ネットワークのサービス範囲内にあり、信号強度が良好であることを確認してください。
   - タブレット端末が機内モードになっていないことを確認してください。

4. ノートパソコンがスリープ / 休止モードから復帰できないのですが？
   - 電源キーを押して前回の作業状態に戻ってください。
   - デバイスの電池が全て切れている可能性があります。電源変圧器をタブレットに接続し、電源キーを押してください。

5. デバイスが復帰できない場合に想定される原因：
   - 内蔵メモリーの故障。
   - 外付け周辺機器との相互接続性がない。
   - 実行プログラム / アプリが不適切。

保証とアフターサービス

購入後1年以内の保証について

本製品購入後1年以内に取扱説明書および製品内に示された方法と環境下で使用して故障した場合は、当社は無料にて修理または新品への交換サービスを行っています。

注意事項

①保守点検をお申込みの際には購入先から発行された領収書または購入証明書をご用意ください。

②購入日と領収書発行日が異なる場合は、遅い方を保証期間の起算日とすることができます。

③保証対象外の次のいずれかに該当する場合は、製品保証期間内であっても修理または新品交換費用をいただきます。

- 誤った使用による製品の損壊または故障。
- 製品ハードウェアまたはソフトウェアの不適切な修理または改造。
- 火災、風災、水災、地震、落雷その他の天災、環境汚染、本体への塩分侵入、異常電圧などによる損壊または故障。
- 製品購入後の郵送、搬送、落下などによる損壊または故障。
- お客様が故障した製品を提出できない場合。